



NPO 法人

山夕三記念

2010 年

春号

No.47

すまい・まちづくり文庫レター

## 西山文庫・2010 年 春のフォーラム

日時：2010 年 5 月 15 日 (土) 午後 1:30 ~ 4:30 場所：梅田スカイビルタワーウエスト

### 「歴史とエコロジーからのまちづくり—日伊の比較から—」



講師 陣内秀信 氏 (法政大学教授)

都市づくりのキーワードは、高速・利便・効率を追求してきた 20 世紀型の巨大技術から、歴史・文化・自然・エコロジーへと大きく転換している。古代から興亡を繰り返してきたイタリア都市は、いかにして現代によみがえったのか。歴史とエコロジーの視点から、イタリアと日本のまちづくりを語る。

【講師プロフィール】1947 年福岡県に生まれる。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学、ユネスコのローマ・センターに留学。帰国後、東京大学大学院工学系研究課博士課程修了。東京大学工学部助手・法政大学工学部建築学科助教授を経て、法政大学工学部建築学科教授。特定非営利活動法人歴史建築保存再生研究所理事。

専門はイタリア建築・都市史。ヴェネツィアとの比較から江戸(戦前の)東京が水の都であったことなどを論じた『東京の空間人類学』でサントリー学芸賞受賞。日本建築学会賞受賞。

著書：『シチリアー<南>の再発見』(淡交社)、『サルデーニャー 地中海の聖なる島』(共著、山川出版社)、『迷宮都市ヴェネツィアを歩く』(角川書店)、『南イタリア都市の居住空間』(編著：中央公論美術出版)ほか

### 「大阪のまちづくり—歴史を読み解き、歴史を活かす—」

講師 谷直樹 氏 (大阪市立大学教授)

近代の大阪の歴史をふり返ると、巨大技術による都市の開発に力を入れ、固有の歴史や文化を大切にしていなかったのではない。「水の都」「八百八橋」「天下の台所」「町人の町」「食い倒れ」など様々な形容で語られた大阪のまちづくりを、歴史とエコロジーの視点で読み解き、未来のまちづくりへの歴史資産について考える。

【講師プロフィール】京都大学工学部建築学科卒業、京都大学大学院博士課程単位取得退学。工学博士。京都市史編纂所・堺市博物館・大阪市立大学講師・助教授を経て、現在、大阪市立大学教授。大阪市立住まいのミュージアム(大阪くらしの今昔館)館長などを兼任。



専門は居住文化史と博物館学。京都、堺、大阪における教育・研究・実践の経験から、上方の三都における都市生活史をライフワークとし、また、博物館の企画・運営や大阪のまちづくりに参加している。

受賞：都市住宅学会業績賞(大阪市立住まいのミュージアムの開設と活動、2006)、日本建築学会賞(大阪市立住まいのミュージアムの企画と運営、2008)ほか

著書：『町に住まう知恵—上方三都のライフスタイル』(平凡社)、『世界遺産をつくった大工棟梁—中井大和守の仕事』(編著：大阪市立住まいのミュージアム)、『創造都市と社会包摂』(共著：水曜社)ほか

設計業績：「大阪市立住まいのミュージアム 展示設計監修」大阪市立住まいのミュージアム(2001)ほか

## 目次 -Contents-

春フォーラムご案内	1
特集：秋のフォーラム報告	2
マイライフ・マイワーク	8
マイライフ・マイワーク	10
マイスタディ：若手研究者はいま	12
マイスタディ：若手研究者はいま	13
すまい・まちづくり図書紹介	14
東西の架け橋、鈴木成文先生の突然の逝去を悼む	16
人と住まいと社会を考える研究部会	18
名古屋圏の住宅地見学会	19
文庫よりお知らせ	
●文庫活動日誌 ●寄贈本の報告●夏の学校予告	
●新事務局員紹介●開館日変更●編集後記	20